

ICT活用教育

小学校6年 国語

私たちにできること（提案できる文章を書こう）

実践事例 NO.17

発行：伊那市教育委員会学校教育課

編集：ICT活用教育推進センター

C 協働学習

C3 協働制作

学習の目標

グループで協力して提案する文章を書く。提案の意図や内容、その効果が読み手にわかりやすいよう、具体的に書く。

1 身の回りにある問題について考えよう

4人でグループを作りました。身近な題材として、「**分別して川から海に行くごみを無くそう**」というテーマを取り上げることにしました。グループで話し合っ

て1つの「提案書」を作ることにしました。



2 提案のための資料を集めよう

グループで協力して、**本やインターネット**で調べました。みんなで話し合いをして問題点を明らかにし、解決策を考えます。

3 提案する文章の構成を考えよう

グループで話し合っ提案を組み立てていきます。**提案**がいくつかあった時には、提案ごとにまとまりを分けてみます。

このような工夫をすることによって内容が読み手にわかりやすく伝わります。

4 提案する文章を書こう

グループで話し合っ、内容や書き方を検討します。分担を決めて書いたり、話し合いながら書いたりします。**Pagesの共同編集機能**を利用してお互いに話し合いをし、編集しながら制作をしました。

5 読みあって、感想を伝えよう。

他のグループの提案書を読み合い、思ったところを**schoolTakt**を使って伝え合いました。

クラウドによる「同時共同編集」を学習活動に

例えば、日常にある課題に取り組むとき右図のような活動が行われたとします。図の中で、「情報共有」は学習の結果の共有（発表）ではなく、「**学習のプロセスを共有**」することにも意義があります。「学習のプロセスを共有」することは**クラウド**を使うことによって可能になります。同時協働（共同）編集の実現です。

協働編集を始めると、慣れていない子どもたちの間では「入力する位置が重なる」「入力した言葉が消えた」といった混乱が生じるかもしれません。

しばらくすると「入力位置の調整」や「入力内容の検討」が子どもたちどうしで自然に行われるようになります。

このような学習を通して「新たな価値を創造する力」、「対立やジレンマを克服する力」、「責任ある行動をとる力」が育まれていきます。

そして、この力は、学校だけでなく、将来、あらゆる場面で役立ちます。社会生活の中でも、未来の仕事を作り出すためにも必要な力です。

「**ウェルビーイング**」と形容される社会を創造することのできる力を育てることにもなります。

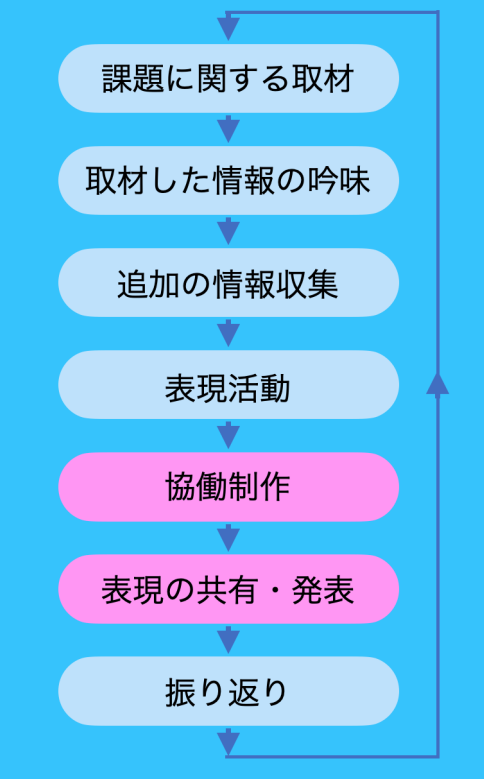
伊那市「**学校教育の情報化ビジョン2021**」でもこの考え方に触れられています。

※「ウェルビーイング」（well-being）とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い言葉です。

伊那市「**学校教育の情報化ビジョン2021**」は、共有ドライブ内にあります。

「**ICT活用教材DB**」>01伊那市のICT活用教育>伊那市「**学校教育の情報化ビジョン**」

日常にある課題への取り組み例



題名 分別をして川から海に行くごみを無くそう

提案者

1. 提案のきっかけ
● 分別をすることは、分かっていても何ゴミなのか分かっていない。
● インターネットで海に流れたゴミを海の動物が食べてしまい死んでしまったことが書かれていた。だから、海なし県からゴミをなくすことで少しでも海を綺麗にする。

2. 提案

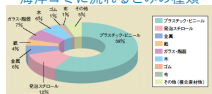
- 分別お助けポスターの設置

全学年の教室のゴミ箱近くに、ポスターを貼り分別に関するイラストや校務技師の先生の要望を掲示することを提案する。「分別しよう」と呼びかけるだけでは、分別する理由が伝わらない。1年生から6年生までのみんなが、分別の意味を考えて、ゴミを捨てられるようにする。分別ポスターの掲示すれば、みんなが日々ゴミの分別に気持の良い目を通してくれるようになる。それと同時にペットボトルやストロー、レジ袋などのプラスチックのゴミ捨てをしないようにする。そうすると、海に行くゴミも少なくなる。現在海にあるゴミは、何万個もある。だから、ゴミの分別というようにポイ捨てしないことで、環境が良くなる。

3. まとめ

私たちの県から海まで離れているが日々分別すれば海洋ゴミを減らすことが出来る。海洋ゴミは、世界の海に存在している。プラスチックゴミは、合計で1億5000万t。そこへ少なくとも800万t（年間）が新たに海に流れている。だから、少しでも海洋ゴミを減らす事で環境が良くなり、動物の住まいが保たれる。動物の住まいが保たれると言う事は、動物の数が減らなくなり絶滅危惧種が少なくなる。

海洋ゴミに流れるごみの種類



長谷小学校 6年 吉田靖先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました。

長野県ICT教育推進センターが掲げる令和3年度の目標

子どもたち全員が、クラウドによる「同時共同編集」ができる

C 協働学習

C3 協働制作